

※妬みも偽善も全くありません。

2024年1月25日

旧N国党党首・立花孝志と拘わった動物の行方は

麻生副総理

福島市矢剣町11-3 星野節子
024-563-7650
繁殖ゼロで処分ゼロ遺棄ゼロ
<https://ameblo.jp/animal-police>

元旦からの震災・優しいことを言うが優しいことをするための税負担はしたがない身勝手に品性の低い国民に囲まれてお疲れの中、このようなFAXをする失礼をお許してください。

1、立花が犬を飼っています。犬が悲しそうな目・助けを求めているような目をしています。立花が収監されたら犬はどうなるのか？ 都内なら犬の里親さんは見つかりやすいのが救いですが、立花に飼われて悲しそうな顔をしている犬だからこそ、慎重に慎重に里親探しをしなければいけません。幸せな犬は、目つきがキョト〜ンとしていますが立花の犬の目は悲しそうです。

2、立花の手から犬が離れたら警察から連絡がくるように段取りをしておき、避妊手術は都内の獣医さんへお願いするか、私が福島で主催している手術キャンペーンで受けさせるかのいずれかにし、その後、じっくりと時間をかけて里親探しをします。

3、立花が飼っていた多頭の猫はどこへ行ったのでしょうか？ 2019年、私は立花へ猫の去勢避妊代として10万円カンパしましたが、立花は去勢避妊に使わず猫は出産。ショックを受けた私は以後、立花のYouTubeを視ることもやめました。

猫は一度に数匹産みます。年に1～3回産みます。ねずみ算式に増えます。立花に飼われていた猫はどこへ行ったのでしょうか？

※別添・・・立花へ猫の去勢避妊手術費として振り込んだ証拠